



本資料は、表記の研修会で参加者用に作成された資料です。Pdfを得た人が個人的に使う以上の利用をする場合には、著作権者の承諾が必要です。

JOA コースプラン&リスクマネジメント研修会 2016・12/23(東京)

(公社)日本オリエンテーリング協会 村越 真

コースプラン & リスクマネジメント

- 「不確実性」
- コースプラン
 - ナヴィゲーションとは不確実性への対応の技術
 - →レベルにあった不確実性を与える

- リスクマネジメント
 - 不確実性を適切に管理することが主催者の法的、道義的、社会的責任
 - →適切に不確実性を減じる

- 参考文献
 - JOA (2016) ナヴィゲーションスポーツのための安全ガイド 2016年版
 - 村越真(2015)山のリスクと向き合うために:リスクマネジメントの理論と実践 東京新聞

リスクとリスクマネジメント

- 自己責任とは何か？
- リスク
 - ハザードとリスク
 - 不確かさの影響（不確実性・損害）
 - 魅力・メリットと裏腹に存在する
- リスクマネジメント
 - ただリスクを回避することではない
 - リスクのレベルを評価し、適切な対応を考える
 - 特定→分析→評価→対応
 - 対応：回避、低減、共有、保有

オリエンテーリング中のリスク

カテゴリー	ハザード(リスクの源)	リスク
天候・気象		
地面		
動植物		
人間		

リスクマトリクス

		発生頻度（確率）				
		4 高い	3 時々起こる	2 あまり起こらない	1 ほとんど起こらない	
害（ 損 重 大 性	3 重大	A極めて重大なリスク	B重大なリスク	C中程度のリスク	D許容可能なリスク	
	2 中規模	B重大なリスク	C中程度のリスク	C中程度のリスク	D許容可能なリスク	
	1 軽微	C中程度のリスク	D許容可能なリスク	D許容可能なリスク	E些細なリスク	

図1-11: 確率と損害によるリスクの評価の例

日本山岳ガイド協会では、頻度(確率)を4段階、重大性(損害)を3段階とし、そのマトリクスによってA～Eの5つの等級に分類し、A～Cに該当するものが、D、Eになるまで要因を除去するか低減する措置を取ることを指針として示している。
(村越注: 同じDランクでも最右列のDへの対応は共有(保険など)で、最下行のDへの対応は保有となる)

リスクを評価する

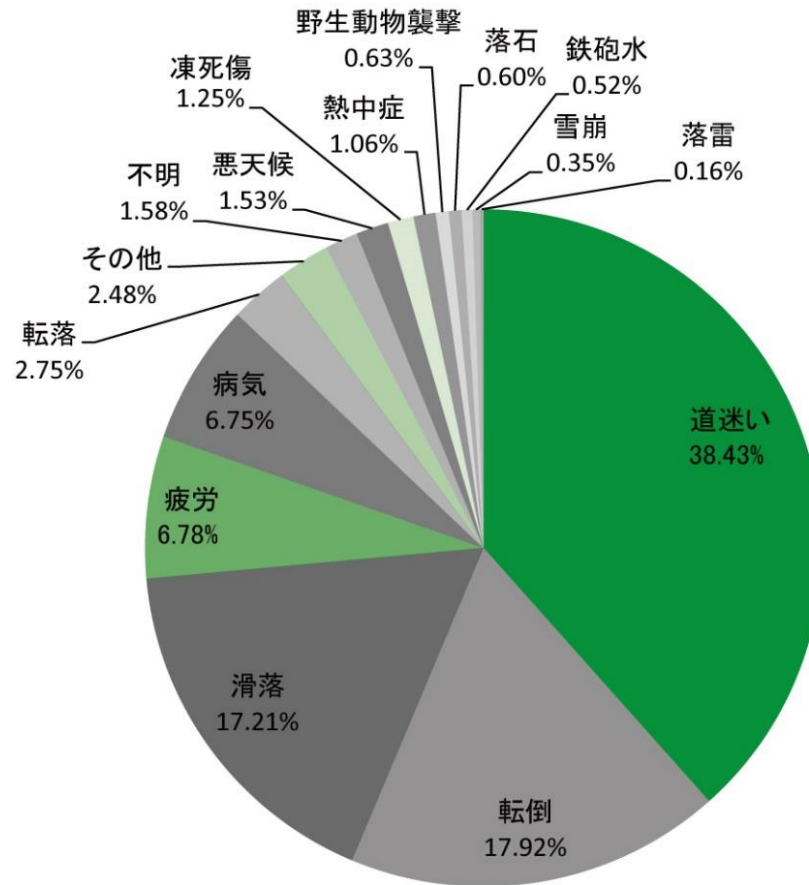
	高損害	中損害	低損害
高確率			
中確率			
低確率			

リスク対応：自分でできること

カテゴリー	リスク	対応
天候・気象		
地面		
動植物		
人間		

山で出会うリスクとは？

図1-8: 2012・2013年の遭難態様の割合



大会のリスクマネジメント

■ 主催者の責任を問われる時

□ 刑事責任と民事責任

- 業務上過失致死傷
- 無償のサービス行為も業務たりえる

□ 不法行為／債務不履行

- 権利の侵害と、それによる損害発生
- 故意、過失(通常の注意力ではとうてい予見できない場合には責任は否定)
- 因果関係
- 責任能力(子ども、等)

過失とは

- 危険の予見と危険の回避
- 違法性の阻却、「許された危険」
 - 違法とされる要件はあるが、社会的に許される場合
- 危険の同意
 - 「スポーツやゲームに参加するものは、...通常予測しうる危険を受任することに同意しているものと解する」(東京地裁、1964,12,21)

主催者が予見できない危険

不可抗力

主催者が予見できる危険

主催者が回避すべき危険

参加者が予見できる危険

参加者が同意、回避義務

リスクマネジメントのプロセス

図1-6: リスクマネジメントに関わる用語の整理



スポーツ事故事例

- Y町主催のトライアスロン競技会にはじめて参加したA(60歳)は、出発点から1400mか以上で心臓停止、4日後に死亡。遺族が、「Aが溺れた付近は摂氏22-23度で、体温保持のためにウェットスーツの着用を少なくとも50歳以上や初心者には認めるべき」、「事故直前に「泳ぎますか?」と確認したが、疲労した被害者には過酷」など主催者の安全配慮義務違反によると損害賠償請求。
- 京都地裁、大阪高裁ともに棄却
 - 競技を主催したものは、参加者に対して、安全に競技できるように配慮して救助を要する事態が発生した場合にはただちに救助すべき義務を負う...
 - 小さな競技でも耐久競技であり、その参加者は水泳のできないものが強制的に参加させられているわけでもなく、承知の上で自ら希望...
 - Aの事故直前の監視状況については不十分だが、Aの救助に重大な影響は与えず

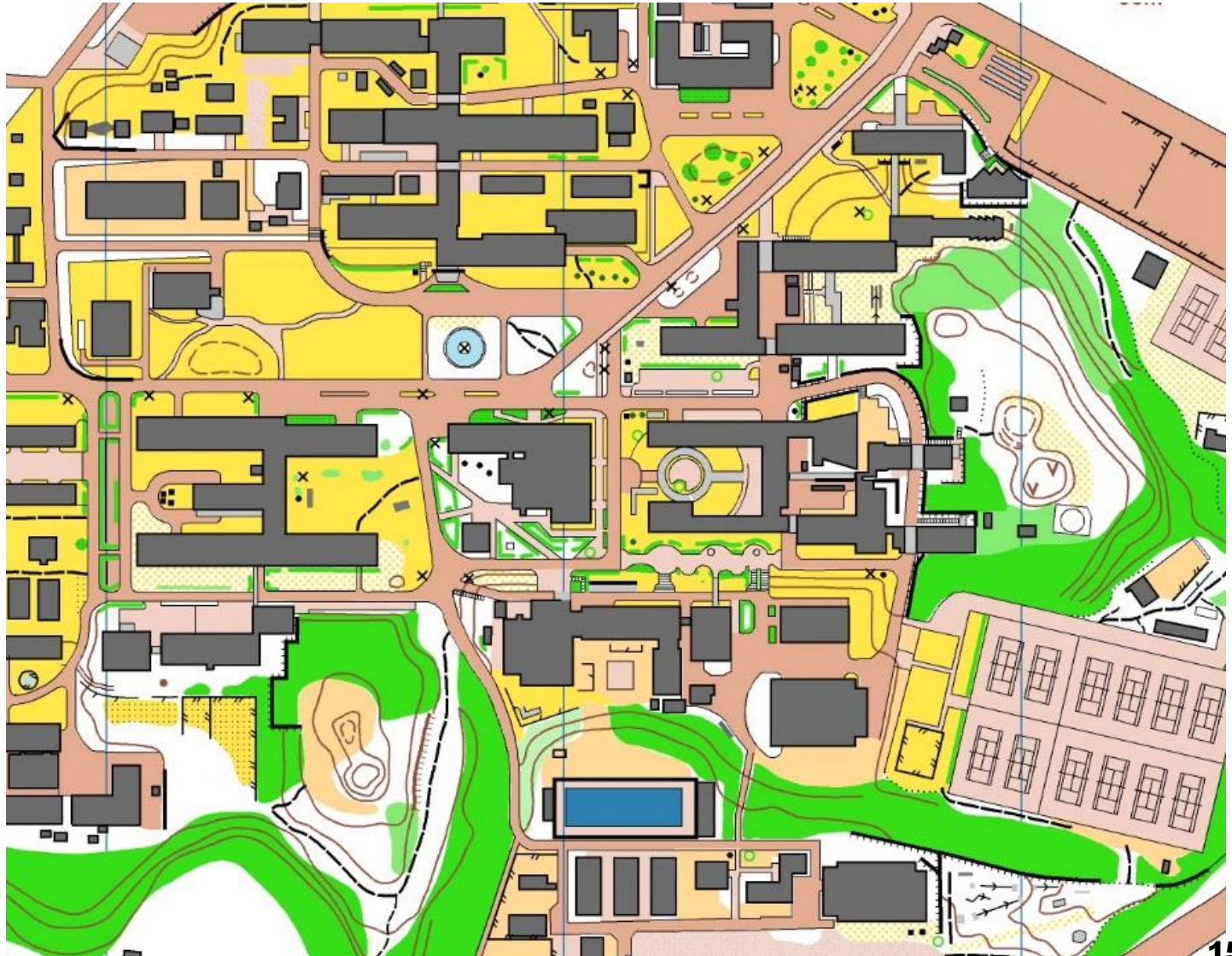
クライシスマネジメント： 適切な事故処理

- ダメージコントロール
 - 救急法
 - 迅速な連絡
 - 責任
 - 法的責任(刑事、民事)
 - 道義的責任(不可抗力、不可避)
 - 誠意
 - 陳謝(誠意ある言動)
 - 反省(再発防止の対策)
 - 保障(見舞金、賠償金)
- 道和書院「スポーツ六法」より

個人的なリスクマネジメント

- 「危険の同意」のもとに参加している
- 個人がリスクを考える時の視点(リスクマネジメント八策)
 - ①自然の不確実性を自覚する
 - ②魅力と危険のジレンマを意識する
 - ③挑戦と安全の間で常に揺れ動く
 - ④事前とオンサイトでのリスクマネジメント
 - ⑤一線を越えるシナリオを想定する
 - ⑥制御可能性を吟味する
 - ⑦可能だ判断したことには全力を尽くす
 - ⑧無事だったときにも、自分の楽観主義を疑え

このテレインで考えられるリスクは？



このテレインで考えられるリスクは？

